

PROGRAM

No. 67

NFAJプログラム
2025年9月発行



TIFF/NFAJ Classics:

Brazil

TIFF/NFAJ クラシックス
ブラジル映画週間

Film Week

2025.10.28 [火]—11.2 [日]

国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU (2階)

定員=310名(各回入替制・全席指定席) ※各回の開映後の入場はできません。

[主催] 国立映画アーカイブ | 東京国際映画祭 | LINHAS CULTURAL PRODUCTIONS [協賛] 駐日ブラジル大使館 | ギマランイス・ホーザ文化院 [上映会番号] 488



TIFF/NFAJ クラシックス
ブラジル映画週間
TIFF/NFAJ Classics: Brazil Film Week

日本とブラジルの間で正式な外交関係が樹立されてから130周年を迎える本年、第38回東京国際映画祭(TIFF)との共催企画「TIFF/NFAJ クラシックス」では、同映画祭のワールドフォーカス部門として、1960年代から現在までのブラジル映画の秀作を紹介する「ブラジル映画週間」を開催します。『アイム・スティル・ヒア』(2024、ウォルター・サレス)のアカデミー国際長編映画賞受賞や、『ブルー・トレイル』(2025、ガブリエル・マスカロ)のベルリン国際映画祭銀熊賞(審査員グランプリ)受賞など、近年のブラジル映画の国際映画祭での活躍は際立っています。

本特集では、ブラジル映画の存在を世界に知らしめた1960年代の映画運動「シネマ・ノーヴォ」を牽引した映画作家グラウベル・ローシャの代表作2作品、世界的な名声を獲得している巨匠ウォルター・サレスの出世作である『セントラル・ステーション』(1998)とともに、現在のブラジル映画の代表作を上映します。なお、ブラジル音楽の魅力を伝えるドキュメンタリー映画『ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツァー(仮題)』(2025、フラヴィア・モラエス)は本特集のクロージング・特別上映となります。パワフルで多様性にあふれたブラジル映画の数々の名作群(6作品、6プログラム)をこの機会に是非ともご覧ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- =監督・演出 ●●=原作・原案 ●●=脚本・脚色
●●=撮影 ●●=美術 ●●=音楽 ●●=出演
●●=語り・ナレーター
■すべての作品に日本語字幕が付いています。
■上映分数は当日のものと多少異なる場合がございます。

▶ チケット購入方法

	一般	高校・大学生・ 65歳以上	小・中学生	障害者手帳を お持ちの方 (付添者1名まで)	キャンパス メンバーズ (教職員)	キャンパス メンバーズ (学生)
チケット料金	1,300円	1,100円	900円	800円		
オンライン販売	各上映日の3日前正午から各上映回の開映15分前まで					
窓口販売	各上映回の開映1時間前から5分前まで若干数販売、お支払いは現金のみ					

『ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツァー(仮題)』のみ下記の特別料金となります。

一般 2,000円/学生・65歳以上 1,600円/障害者手帳をお持ちの方(付添者1名まで)・キャンパスメンバーズ 700円

- *電子チケットは、当館HPより公式チケットサイトにてオンライン販売します。
*料金区分の違うチケットでは入場できません。差額のお支払で観覧することはできません。
*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、国立美術館のキャンパスメンバーズは証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。
*未就学児、優待の方は「障害者手帳をお持ちの方または付添者等券」をお求めください。

10月	28 日	15:00	⑤ ブルー・トレイル	(86分)	19:00	③ セントラル・ステーション	(110分)
	29 日	15:00	① 黒い神と白い悪魔	(120分)	19:00	② アントニオ・ダス・モルテス	(100分)
	30 日	15:00	⑤ ブルー・トレイル	(86分)	19:00	④ カザ・ブランカ	(95分)
	31 日	15:00	② アントニオ・ダス・モルテス	(100分)	19:00	① 黒い神と白い悪魔	(120分)
11月	1 日	15:00	④ カザ・ブランカ	(95分)	19:00	⑤ ブルー・トレイル	(86分)
	2 日	13:00	③ セントラル・ステーション	(110分)	16:00	⑥ ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツァー(仮題) クロージング上映(110分)	

1 10/29(水)15:00 10/31(金)19:00

黒い神と白い悪魔(120分・DCP・白黒)

Deus e o Diabo na Terra do Sol

生活苦ゆえに領主を殺害した牛飼いのマヌエロは黒人神父が先導する集団に加わり反政府活動に身を投じるが、その先に教会や地主たちに雇われた伝説の殺し屋アントニオ・ダス・モルテスが立ちはだかる。ブラジル史に名高い義賊集団カンガセイロの存在を背景に、抑圧されたブラジルの民衆の怒りを西部劇の形に昇華させ、グラウベル・ローシャの名を知らしめた長篇第2作。

1964(ブラジル:コパカバーナ・フィルムズ) ●●●●●グラウベル・ローシャ ●●ウォルター・リマ・ジュニア ●●ヴァウデマル・リマ ●●パウロ・ジール・ソアレス ●●セルジオ・ヒカルド、エイトル・ヴィラ・ロボス ●●ジェラルド・デル・ヘイ、イオナー・マガリヤニス、オトン・バストス、リジォ・シルバ

2 10/29(水)19:00 10/31(金)15:00

アントニオ・ダス・モルテス(100分・DCP・カラー)

O Dragão da Maldade contra o Santo Guerreiro
(Antonio das Mortes)

『黒い神と白い悪魔』の続篇ともいえる作品。「カンガセイロ殺し」として恐れられたアントニオだったが、依頼主の陸軍大佐や権力者たちの腐敗した現状に、撃つべき敵が違ったのではと悩み始める。ローシャ自身が「私にとって真に映画的といえる最初の試み」と語るように、バイオレンスの緩急と大胆な音楽の実験を交え、さらなる完成度を達成。カンタ映画祭監督賞に輝いた。

1969(ブラジル:マバ・フィルムズ=クロード・アントワヌ・フィルムズ) ●●●●●グラウベル・ローシャ ●●アフォンソ・ベアト ●●マルコス・ノブレ ●●マウリシオ・ド・ヴァーレ、ウーゴ・カルヴァーナ、オトン・バストス、オデッチ・ララ

3 10/28(火)19:00 11/2(日)13:00

セントラル・ステーション(110分・DCP・カラー)

Central do Brasil

リオの中央駅で代書屋を営みながら、代金の一部を着服して生計を立てる元教師のドーラは、顧客だった女の突然の事故死により残された少年ジョズエの父親探しの旅に同行する。苦難の中で次第に絆を深めていく2人の目を通して、90年代ブラジルの光と闇が浮かび上がる。ベルリン国際映画祭金熊賞をはじめ、世界で30を超える賞を受賞したロードムービー。

1998(ブラジル:ヴィデオ・フィルムズ) ●●●●●ウォルター・サレス ●●ジョアン・エマヌエル・カルネイロ、マルコス・ベルンスタイン ●●ヴァウテル・カルヴァーリョ ●●カッショ・アマランテ、カルラ・カフェー ●●アントニオ・ピント、ジャキス・モレレンバウム ●●フェルナンダ・モンテネグロ、マリリア・ペーラ、ヴィニシウス・デ・オリヴェイラ、オトン・バストス、ソイア・リラ

▶ 入場方法

- *開場は開映30分前です。
*チケットのQRコードをスマホ画面、または印刷紙面でご提示ください。特集名、作品名はチケットに表示されませんので、お間違いないようご注意ください。
*各回の開映後の入場はできません。予告篇はございません。

4 10/30(木)19:00 11/1(土)15:00

カザ・ブランカ(95分・DCP・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

Kasa Branca

リオデジャネイロ州チャトゥバ郊外に住むデーは、家賃や医療費の支払いもままならない中、親友2人の助けを借りながらもアルツハイマー病の祖母と2人暮らし。余命わずかな祖母の看病を通じて、深い友情で結ばれてゆく3人のティーンエージャーを描いた社会派青春ドラマ。監督は俳優としても活躍するルシアーノ・ヴィジガル。

2024(ブラジル:ソブレトード・プロドゥソン=テーヴェ・ゼロ) ●●●ルシアーノ・ヴィジガル ●●アルトゥール・シェルマン ●●アレシャンドレ・マガリヤニス、ハファエウ・カベッサ ●●グスタヴォ・モンテネグロ ●●ビッグ・ジャウム、ジエーゴ・フランシスコ、ハモン・フランシスコ、テカ・ペレイラ

5 10/28(火)15:00 10/30(木)15:00 11/1(土)19:00

ブルー・トレイル(86分・DCP・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

O Último Azul

若者の負担を抑えるべく、老人は強制的にコロニーへと収容されるディストピアの世界。テレザはまだ収容の対象ではないが、何を行動するにも娘の許可が逐一必要となったことを知り、自由を求めて逃避行の旅に出る。監督のガブリエル・マスカロによる洗練された構図と卓越した色彩感覚が、テレザの歩む旅路に心地よい陶酔感をもたらしている。第75回ベルリン国際映画祭にて銀熊賞(審査員グランプリ)受賞。

2025(ブラジル=メキシコ=チリ=オランダ:シネヴィナイ=デスヴィア・フィルムズ=キホーテ・シネ=ヴァイキング・フィルム) ●●●ガブリエル・マスカロ ●●チペリオ・アズール ●●ギジェルモ・ガルサ ●●ティグ・バハット ●●メモ・ゲーハ ●●デニゼ・ヴァインベルグ、ロドリゴ・サントロ、ミリアム・ソカラス、アダニロ

6 11/2(日)16:00

クロージング上映

ワールドフォーカス部門 ブラジル映画週間特別上映作品

ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツァー(仮題)(110分・DCP・カラー・英語字幕付 with English subtitles)

Milton Bituca Nascimento

「ブラジルの声」とも称されるブラジリアンポップスの巨人、ミルトン・ナシメントをめぐるドキュメンタリー。2022年に80歳を迎えたナシメントがライブ活動からの引退を表明しておこなったフェアウェルツァーに密着しながら、カエターノ・ヴェローゾ、シモーネ、スパイク・リーら内外の著名人たちの証言などを通じて、その人物像と音楽世界を探索する。

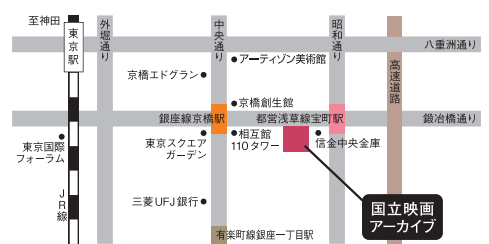
2025(ブラジル:カナル・アズール=ナシメント・ムジカ=グラーニ) ●●フラヴィア・モラエス ●●ベドロ・ホシャ ●●ミルトン・ナシメント、カエターノ・ヴェローゾ、シモーネ、シコ・ブアルキ ●●フェルナンダ・モンテネグロ

共同配給:リアリーライクフィルムズ/バルミラムーン

本作のみ特別料金となります。



©2025 Canal Azul, Nascimento Música, Gullane / ReallyLikeFilms



国立映画アーカイブ

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600

ホームページ: www.nfaj.go.jp

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

表紙: ブルー・トレイル